



# 下大和田谷津田だより



2006年 2月号

## 第72回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

1月8日 晴れ

厳しい寒さが続いていましたが、好天で暖かい穏やかな一日となりました。

谷津田に勢ぞろいした冬の鳥を越川重治先生（国分高校教諭、都市鳥研究会）のご指導で観察しました。冬の谷津の頂点に立つノスリが観察会の開始前後で再三姿を現し、その精悍な顔つきなどをフィールドスコープで堪能しました。マイ田んぼでは、カシラダカ、ホオジロ、タヒバリ、セグロセキレイ、などが一緒に見られたり、斜面林ではたくさんのエナガ、メジロ、シジュウカラの混群も見られました。ただ、ハンターと猟犬が入っており、鳥が警戒してしまっていたこと、危険防止のためコースを短縮したことはちょっと残念でした。午後はYPPと合流して、どんど焼きや昔の遊びを楽しみました。

野鳥：ダイサギ、アオサギ、ノスリ、キセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、ハシブトガラス。

（参加者：大人9人；報告：網代春男）

## 第56回谷津田プレート・プロジェクト(YPP)

### 「どんど焼きと昔あそび」

1月8日 晴れ

定例自然観察会と同時開催でどんど焼きをしました。まず観察会グループとどんど焼き準備グループに分かれ、準備グループは田んぼからかかしを持ってきてイベント広場の真ん中に置き、周りから枯れ草を集めて小さなやぐらを作りました。点火はいつものように火起こし器。15分の時間制限で、もし誰も火を起こせなかったらライターで付けることにしました。今回はどの火起こしチームも火種作りに苦戦。制限ぎりぎりようやく1チームが火種を作ったら炎にするのはいつになく簡単で、自分たちの火でどんど焼きの点火ができました。お昼はおいしいお汁粉や豚汁、谷津田米のお粥、そしてたき火で焼き芋にマシュマロ、暖かい日差しの下、至福の時間でした。お腹がいっぱいになったところで、火のそばでべいごまやけん玉をしました。エルサルバドルからの留学生が参加していましたが、日本の昔ながらのあそびを大いに楽しんでいました。昔あそびは大人も子どももみんなで遊べるのがとてもいいですね。

ちょっと風がりましたが、陽ざしがとても暖かく、気持ちよい真冬の日でした。

（参加者：大人22人、小中学生7人、幼児6人、報告：高山邦明）



## 下大和田季節のたより

1月28日 北斜面の雪はまだかなり残っていて、ノウサギの足跡がたくさんあった。

雪解け水のためか土水路の水量が大変多く、水も澄み切っていた。田んぼでセグロセキレイがガガンボ？の幼虫やヒメモノアガライを食べていた。

（田中）



今年はハクチョウがかなり南まで下がったり、冬鳥の訪れが遅れたり、数が少なかったりと例年のない寒さの影響が出ているようです。皆さんの周りではいかがですか？冬の谷津は鳥の数が多く、草木が枯れて見通しがよいこともあって、バードウォッチングには最適です。寒さに負けず、身近な谷津を散策してみてください。きっとわくわくの発見がありますよ。

高山邦明